

2025年度年度入学生 教養科目カリキュラムマップ

【ディプロマポリシー】							
【知識・技能】							
1-1 自らの専門領域を越え、人生社会を牽引するための知識・技術を身に付けている。							
【思考力・判断力・表現力等の能力】							
2-1 自らの専門領域を越え、問題解決を図ろうとする創造性を身に付けている。							
2-2 健全な社会を維持するため、健康に留意し、健全な精神を育成する態度を身に付けている。							
【主体性・多様性・協働性】							
3-1 主体的に社会参画を果たそうとする自立心を身に付けている。							
3-2 多様化が進む社会において、多様な対話力を身に付けている。							
【教養科目のカリキュラムポリシー】							
①知性や感性を磨き、学問研究や社会生活の基盤となる知識や技能を身に付け、心身の健康を育成するための科目を開講しています。							
②社会的・職業的自立を支援するために、就職活動に関する科目だけでなく、生涯にわたって自己のキャリアを築き、対話力の育成をするための科目を開講しています。							
③専門科目以外の学問領域を学ぶことにより、幅広い知識や多角的思考力および柔軟で想像性に富んだ力を身に付け、創造性に繋がるような科目を開講しています。							
分類	授業科目名	授業科目の到達目標	教養科目の学修成果				
			(◎＝達成のために、特に重要な事項 ○＝達成のために、重要な事項)				
			ディプロマポリシーの項目番号				
			1-1	2-1	2-2	3-1	3-2
心身の健康科目群	教育学	①将来を担う子ども達を愛情豊かに育てていくには何が大切か、どのようにすればよいのかを深く理解することができるようになる。 ②幼児教育に関する幅広い知識や多角的思考力および柔軟で創造性に富んだ思考力を身に付けることができるようになる。	◎	○			
	衣生活の知識	①衣服素材やインテリア素材に関する知識を身に付け、生活するうえで適切な取り扱いができる。 ②布を使って身の回りの小物を作ることができる。 ③衣生活や住生活をよりよくするために、工夫することができる。	◎	○			
	食事学	①「食べる」ということの根本的な意味が理解できる。 ②日常の食事作りや食材の購入、外食時に、授業で学んだ知識を実践できるようになる。		○	◎		
	食品科学	①食生活と健康について、幅広い知識を身に付ける。 ②日常生活において、食品の正しい情報を理解し選択することができる。			◎		
	体育講義	①生涯にわたり継続的に運動を行うことの重要性を理解し、自らの生活の中に取り入れることができる。 ②これらの実践に伴う知識や態度を養うことができる。 ③積極的にグループワークに参加し、各自の価値観、気づき等についての振り返りを行う。			◎		
	体育実技	①スポーツやレクリエーション実践を通して体力の維持向上ができるようになる。 ②生活の中に運動習慣をとりいれ実践できるようになる。			◎		
コミュニケーション科目群	異文化コミュニケーション	①異文化コミュニケーションの知識を深め、友好的なコミュニケーションができる。 ②異なる価値観や多様性を尊重することができる。 ③異文化適応性を養うことができる。	◎				
	心理学 I	自分の日常生活における心理学を科学的視点で捉えることと、自分以外の人の知覚・感覚に対する想像力を身につけていく。	◎				
	英語コミュニケーション(a)	①テキストの内容を正確に把握することができる。 ②テキストの要旨を英語でまとめることができる。 ③論理的なエッセイを英語で書くことができる。	◎				
	英語コミュニケーション(b)	①基本的な文法や語法などをもう一度しっかり学習し、英語でのコミュニケーションができるようになる。 ②社会に出てから英語が必要になったとき、独学で英語力を向上させる学習方法を身に付けることができる。					◎
	英語講読(a)	①実践的な英語表現を正しく理解することができる ②行間を読むことができる ③テキストの要旨を英語でまとめることができる ④テーマに沿って論理的な英語の小論文を書くことができる	◎				
	英語講読(b)	①英語で書かれた内容を正しく理解し、展開されている論理やストーリーを正確に把握できるようになる。 ②辞書等を使いこなして、社会に出て自分ひとりの力で英語力を向上させることができるようになる。	◎				
	日本語入門	①ふだん使っている日本語の基礎的な知識を身に付け、日本語の特徴を正しく理解できるようになる。 ②日本の文化や日本人の持つ感性が、日本語に与えた影響について理解し、その魅力を説明できるようになる。					◎

2025年度年度入学生 教養科目カリキュラムマップ

分類	授業科目名	授業科目の到達目標	教養科目の学修成果					
			(◎=達成のために、特に重要な事項 ○=達成のために、重要な事項)					
			ディプロマポリシーの項目番号					
			1-1	2-1	2-2	3-1	3-2	
感性を磨く科目群	造形美術	自分の思い描いているイメージをコンピュータ上で具現化できるようになる。		◎				
	芸術表現学	①芸術表現の歴史について理解することができる。 ②現代社会の中で必要な美的感覚と感性を高めることができる。	◎					
	音楽鑑賞	①音楽を聴き、そこにあるメッセージや基本的な特徴を感じとることができる。 ②感じたことを言葉や絵で表現することができる。	◎					
	言葉と文学	①授業で取り上げた古典文学作品の魅力を知り、深く理解・鑑賞できるようになる。 ②日本の古典文学史に関する基礎的な知識を身につけ、概要を説明できるようになる。 ③日本の古典文学作品が後世へ与えた文化的影響について見聞を広め、その価値を理解できるようになる。	◎					
	日本の伝統文化	学ぶ、鑑賞する、体験するなど、さまざまな角度から「茶の湯」の世界を探求し、日本の美をみつめることができる。					◎	
キャリアアップ科目群	キャリアへのアプローチⅠ	①学生が女性として社会に参画するとはどういうことかを把握することができる。 ②仕事を核にしたライフデザインを描くことができる。 ③自己分析ができるようになる。 ④さまざまな職業と多様な生き方の選択があることを理解することができる。				◎		
	キャリアへのアプローチⅡ	①就職サイトが活用できるようになる。 ②エントリーシートが書けるようになる。 ③就職試験のためのマナーとして、文書・電話・Eメールが的確に使えるようになる。 ④面接で自信をもって自己PRができるようになる。 ⑤就職のためのグループディスカッションができるようになる。 ⑥自らの希望・実力に見合った就職先を見つけることができるようになる。				◎	○	
	数学Ⅰ	①数学的活動を通して創造性の基礎を培うとともに、数学的思考力を高めるなかで数学の楽しさを体感することができる。 ②いろいろな計算をとおして、数学的な事実を予測し、可能であればその予測に厳密な証明を与えることで数学で使われる重要な技法を学ぶ。			○	○		
	数学Ⅱ	①データの適切な処理方法やデータの見方、また、データから導かれた情報を正確に読み、正しく理解することができる。 ②データを有効に活用するための手法を身につけ、数学的論拠に基づいて判断することができる。			○	○		
	情報A	①Windows/パソコンのカスタマイズ、基本操作ができる。 ②ワードを使って文書処理ができる。 ③表計算ソフトExcelを使って基本的なデータ処理ができる。 ④インターネットを適切に利用できる。	◎				○	
	情報B	①AI・データサイエンスの必要性を説明できる。 ②社会で活用されているデータ・AI活用の事例を例示できる。 ③データの活用方法について説明できる。 ④データ・AIを扱う上での留意事項を説明できる。			◎		○	
社会を理解する科目群	子どもと社会	①問題提起されたテーマに関して、基礎的な知識を得るリサーチ力を培うことができる。 ②リサーチしたうえで、自分の考えをまとめ、最終発表の場で発表できる表現力を身に付けることができる。		◎			◎	
	神戸学	神戸の歴史や文化、産業等について関心を深め、神戸の魅力に気付くとともに、様々な視点から地域の歴史や文化を見ようとする事ができる。	◎					
	日本の生活文化	①様々な日本の生活文化について学び、昔から伝え育んできた日本の心を見直してみることができる。 ②将来の日常生活に活かすことができるような日本の生活文化の知識を習得することができる。	◎					
	ボランティアの実践	①ボランティア活動に必要とされる責任感を身に付けることができる。 ②社会で必要とされるコミュニケーション力を実践的に身に付けることができる。					◎	
	日本国憲法	憲法の原理を正しく理解し民主主義政治の主人公として振る舞えるようになる。	◎					